

氏名： 堅尾 和夫 (KATAO KAZUO)
所属： サイエンス&エデュケーションセンター
職名： 教授
学位： 工学士
専門分野： バイオ政策
E-mail： katao.kazuo@oc.h.a.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

ナノ材料／リスク管理／バイオ政策・ベンチャー／バイオエタノール
nanomaterials / risk management / policy for biotechnology and bioventure / bioethanol

◆主要業績

・堅尾和夫(編著)「2008年度バイオマス燃料生産におけるバイオテクノロジーの課題と今後の方向について」
(財)北海道総合研究調査会委託、2009年3月、お茶の水女子大学

◆研究内容 / Research Pursuits

現在の化学物質規制制度は、既存化学物質の扱い、試験法の不備、規制対象の機械的限定などの点で新たに開発されつつあるナノ材料がもたらす新たなリスクに対応できないとの懸念がある。これらの問題点について、世界各国の研究状況、議論を調査研究し、今後の日本のリスク管理の制度的課題を明らかにする。

There are several concerns about emerging risk brought by the rapid development of nanotechnology, and the present chemical regulation system might not be able to be applied to the risk appraisal of the nanomaterials, because of the unclear treatment of the Existing Chemical Substance, defectiveness of the testing methods and uniform limited area of regulatory objects. And I have conducted the survey of research and regulation situation of nanomaterials in the world, and investigated institutional topic concerning above mentioned points.

◆教育内容 / Educational Pursuits

2004年度から2006年度まで科学技術振興調整費の助成を受け、社会人向け公開講座「化学・生物総合管理の再教育講座」にカリキュラム企画、講義科目立案、講師選定等の運営に携わった。2007年4月から、サイエンス&エデュケーションセンターにおいて、キャリア教育の充実、リスクコミュニケーション教育を通じた科学技術理解の増進、生涯教育(環境問題)の推進に取り組む。

I'd engaged in planning and managing the Extension Course of the integrated management of chemical substance and Bio-Science for the people in the society member during 2004-2006 fiscal year. From April in 2007, I have transferred to Science & Education Center to strengthen the career education and training, promote the acceptability of science and technology through the education of risk communication and the lifetime education (environmental problem)..

◆研究計画

ナノ材料のリスク評価の課題について調査研究、とりわけ現行化学物質規制制度上の課題に焦点を当て研究を進める。また、新技術の登場に対して社会の知的インフラとしての学会等の役割、そのあり方について、調査研究を進める。

また、2007年度にJSTの独創的技術シーズ展開事業(大学発ベンチャー創出支援)に採択された鎮痛剤開発・実用化のプロジェクト(3カ年総額110百万円(直接経費)、室伏理学部教授との共同提案)について、ベンチャー創業により、基礎的なシーズを実用化にまで結びつけるべく、この社会的なニーズが非常に大きい事業について、共同研究機関の方々と力を合わせ成功させたいと考えている。